

令和 5 年度 南区地域福祉計画アクションプラン地区別計画 進行管理表

○新飯田地区	1
○茨曾根地区	1
○庄瀬地区	2
○小林地区	2
○臼井地区	3
○大郷地区	3
○鷺巻地区	4
○根岸地区	4
○大通地区	5
○白根地区	5
○味方地区	6
○月潟地区	6

南区地域福祉アクションプラン 令和5年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和5年度推進計画			評価							
	スローガン	推進目標	令和5年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
新飯田	笑顔いっぱい「おたがいさまらて」と心が通い合う新飯田	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協事業としてモデル的に茶の間を開催、地域の茶の間立ち上げへ高齢者や地域の方の交流の場を4カ所の自治会（上吉上、下吉上、上中村、下中村）でコミ協事業として開催、定着を目指していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協事業として上中村、下中村、上吉上、下吉上の4カ所で「移動式茶の間」を4回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「移動式茶の間」今後の継続的開催には「会場の整備」「会場までの参加者の送迎」の課題があり、継続検討するほか、地域でサポートしてくれる人の確保、育成も課題 ● 次年度引継ぎ事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・減災活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の避難で支援を必要とする要支援者の把握や日頃から自治会といった身近な範囲で意識し合える環境づくりが課題となる ・ 各自治会にアクションプランや支え合いの必要性を説明する機会を設け連携する必要あり 	A	A	A	A	A	A
		地域活動への住民の参加推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動に参加できる形で次世代の参加を推進する R4白南中2年生が総合学習で考えた地域活動のアイデアのうち、多世代交流事業を地区活動として実施できるよう検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白根高校との世代交流イベントを地区6会場で実施 ・ コロナ禍で活動自粛がちだった地域の茶の間やボランティア活動が、コロナ前と同様に開催 							
		防災・減災活動への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の防災マップづくりから地区全体の防災訓練へ 7月、自主防災会の防災研修と親睦会開催、自治会で防災マップを作成する計画、次年度からは地区全体の防災訓練ができるよう検討継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区役員対象の防災出前講座実施「災害時の生活」について学んだ ・ 自治会等の協力で地区独自の防災マップを作成、全戸配布した 							
		地域のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協だより活用のPR継続 コロナ収束→地区活動の復活が一番のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年3回コミ協だより発行、地域活動を発信した ・ 10月開催「おどまつりと収穫祭」広報紙等で広く周知し、新飯田の風景を多くの人に伝えた 							
茨曽根	笑顔で支え合う桃の花咲く茨曽根	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の茶の間の参加者増 ・ 下茨自治会見守りネットワーク推進 ・ 移動支援の課題検討 ・ 介護予防の推進・体しゃっきり体操の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の茶の間の継続維持 ・ 下茨見守りネットワーク継続 ・ 茨曽根百歳体操を茶の間で継続 ・ 敬老会の送迎を福祉施設の車を借り実施、演目も工夫、参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動事業の次世代担い手不足 ・ 災害時安否確認訓練は実施できたが内容を住民に理解してもらうために継続が必要 ● 次年度引継ぎ事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の新たな活動（グラウンドゴルフ等）を地域で応援できると良い ・ 次世代の担い手育成を今年度の様な活動を継続することで取組み続けていく ・ 地域みんなが考えるような防災啓発を地震で意識が高いうちに実施していく 	A	A	A	A	A	A
		子ども達を地域で育てる取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑での多世代交流を年中事業に ・ 白南中学生の地域課題解決アイデア…ひきこもりの啓発ポスター作成 ・ 地域活動で子どもが活躍できる場をつくり自己肯定感を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白南中学生のアイデアを取入れひきこもり支援の啓発チラシ作成・配布 ・ 茨曽根フェスティバルで子ども店長による販売を行う等、子どもの自己肯定感を高める取組みを実施した 							
		防災・減災の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会別災害図上訓練の実施 ・ 自治会防災マップと緊急連絡網の作成 ・ 避難行動要支援者に対する支えあいの取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップの作成 ・ 防災訓練と連動した安否確認訓練実施、災害時の不安や使える器材などのアンケートも行った 							
		情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協だよりでのアクションプランの活動情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協だよりで地域福祉アクションプランの取組みを情報発信 							

南区地域福祉アクションプラン 令和5年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和5年度推進計画			評価							
	スローガン	推進目標	令和5年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
庄瀬	声をかけ合う話し合う助け合う沢山の合（愛）がある庄瀬	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスのスタート 7月から本格的に活動開始 買い物や通院の移動も含めた付き添い支援もサービスに含めるため、ボランティアの心得や活動ルールの設定などしっかり準備する 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援なじらね庄瀬スタート 民生委員と自治会長との意見交換会（11月） 	<ul style="list-style-type: none"> 取組んでの課題 災害時の連絡体制について。平日のセンター開館時のマニュアルしかなかった。 障がい施設と職員の異動等で交流が途絶えてしまった。「わからない」＝「怖い」になってしまう。 次年度引継ぎ事項 なじらね庄瀬の活動範囲として、南区内に限定しているが、通院の付き添いに限り、加茂市や田上町なども対象にすることを検討する。 災害時の連絡体制の確立とマニュアル化。 	A	A	A	A	A	A
		若い世代との交流推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動に参加できる形で次世代の参加を推進 白南中学校の総合学習で中学生の考えた地域活動のアイデアを地域活動に取り入れ、次世代の地域活動への参加のきっかけにする 	<ul style="list-style-type: none"> 白南中2年生総合学習の実施（9月～1月） まちづくりサポート事業 温故知新～愛するまち庄瀬 農村公園祭り（8月） 庄瀬地区文化祭（10月） 							
		防災・減災活動への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営委員会立ち上げ 白南中圏域3地区で打ち合わせ会実施、年度内の立ち上げを計画する 小学校との連携継続、防災計画を実施 要支援者防災計画の推進 災害時避難行動要支援者名簿と地域の実状のすり合わせ、確認を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 庄瀬小学校、白南中学校での防災教室の開催 地区総合防災訓練の実施 避難所運営委員会（白南中学校エリア立ち上げ） 庄瀬小学校、生活センターは今年度中の立ち上げを予定 							
		組織強化	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長合同説明会の開催 初めて自治会長になる方が地域の実情を把握しやすくなるような取組みや、地域の担い手が一部の人に集中している状況の改善などを検討していく 	<ul style="list-style-type: none"> 保健推進員の活動 健康講座、お花見ウォーキング（4月）、敬老会の手伝い（9月） 庄瀬のいいとこみ～つけたっフォトコン、庄瀬ラベンダープロジェクト開催 「庄瀬の未来を語りませんか」語る会の開催 							
小林	声かけ合い心をつなぐ小林地区	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスの登録会員が活躍できるような工夫をする お助け隊通信発行、ボランティア募集チラシ全戸配布、多くの登録会員が活動に参画できるように買い物移動支援を周知、困っている方が利用できるよう啓発継続 「健康」テーマの講座開催、次世代の参加を促す 住民に身近な自治会組織への啓発継続 アクションプランのチラシを全戸配布する 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスのより良い運営 お助け隊小林的通信発行 お助け隊スタッフ交流会の開催 コミ協や自治会長会で支え合いのしくみづくり啓発 味方コミ協との生活支援サービス意見交換会開催 「健康ますます元気になります隊」立上げ、3回セミナー 地区社協事業での見守り活動継続 	<ul style="list-style-type: none"> 取組んでの課題 地域全体での子どもと大人の交流は次年度の課題 一般住民の防災訓練の参加率が低く、意識を高めることが課題 次年度引継ぎ事項 防災士の増員を図る 一般住民の防災意識の啓発につながる活動事業の工夫を行う 通院のニーズへの対応など、移動支援の拡充検討 お助け隊こばやしへの若い世代の参加を促す、移動支援運転者を増やす 	A	A	A	A	A	A
		子どもの健やかな成長を育む	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育や小学校のボランティアの活動などを継続していく 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の登下校見守り活動継続 各自治会での多世代交流の機会継続 ひまわりクラブの運営を継続 各自治会や地域の茶の間（花火大会やクリスマス会等）での子どもとの交流開催 							
		防災・減災の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練などの事業の継続 昨年度配布の防災マップの周知 	<ul style="list-style-type: none"> 10月防災訓練の実施 実際にAEDを使ってみるなどの訓練 							
		情報発信	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だよりの情報発信の工夫 お助け隊に関する情報発信やアクションプランの情報発信をチラシなどで全戸配布するほか、コミ協だよりのなどでも随時活動の情報を発信していく 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だよりの発行 お助け隊通信の発行 							

南区地域福祉アクションプラン 令和5年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和5年度推進計画			評価							
	スローガン	推進目標	令和5年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
臼井	「やろってば！」笑顔で仲良く臼井地区	既存組織を大切に育て連携する	<ul style="list-style-type: none"> ●防災関係 <ul style="list-style-type: none"> 4月：防災講座開催 災害備蓄品リストチェック、在庫確認。危険のない場所への移動 小中学校の実施する避難訓練で、一緒に何かできないか検討 自主防災会で要支援者名簿対象者外でも、日中独居者など希望者に支援ができるよう、アンケート調査を検討。 ワークセンターしらはすとの交流計画● 支え合い関係 <ul style="list-style-type: none"> 自治会班編成状況アンケート実施。班単位の支え合いを啓発していく ●その他 <ul style="list-style-type: none"> 6月：中学校で多世代音楽交流会開催 11月：小学校ポッチャの体験授業。 寺子屋事業の助成金活用事業を計画 10月：臼井多世代交流会（カーリング・認知症講座）を開催 	<p>評価会議が2/26に開催されるため、3/4開催のアクションプラン推進委員会当日に地区別の評価表を配布いたします</p>							
		既存事業を活発に									
		送迎を含め誰もが参加できる検討									
		事業者も地区の一員・交流積極的に									
ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区	あいさつ運動を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ●その他 <ul style="list-style-type: none"> 6月：中学校で多世代音楽交流会開催 11月：小学校ポッチャの体験授業。 寺子屋事業の助成金活用事業を計画 10月：臼井多世代交流会（カーリング・認知症講座）を開催 									
	ボランティアや地区活動に積極参加										
	行事や活動の情報提供・PR										
大郷	なじらね〜？と声をかけあう大郷地区	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 「なじらね〜の集い」の継続と顔の見える関係づくり 昨年度は2月に講師を呼んで開催。今年度はまちづくりサポート助成事業の中に組み込んでコミ協と開催予定。 まちづくり事業の事業名：「困ったときはお互い様」ひろがれ人の和・地域の輪 	<ul style="list-style-type: none"> 給食サービス事業 懐中電灯配布事業 大鷲夜祭（7月） 敬老会（9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ●取り組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> 見守りについて。外に出てこない人の状況確認。 認知症の理解について。集まる機会に地域包括支援センターに来てもらう。困ったとき相談できるような顔つなぎの機会づくり。 障がい者支援について。どこにどんな方がいるのかの情報共有 ●新たな課題 <ul style="list-style-type: none"> 男性の介護参加について。 災害時の連絡体制や自治会長等が自分たちの地域を見守る仕組みづくりができるといい ●次年度引継ぎ事項 <ul style="list-style-type: none"> 介護サービスについて学ぶ機会や介護者同士の思いを共有できる場づくり 災害時避難所の物品がどこに何があるのか把握できるような一覧等の作成 多世代交流事業の継続 	A	A	A	A	A	A
		担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> 上記事業を通した多様な地域の方とのつながりで担い手を育成していく 	<ul style="list-style-type: none"> 「ひろがれ人の和・地域の輪」小学生との多世代交流事業 畑づくり地域の食堂カレー屋さん（10月）の開催 農家での職場体験（中学生）や梨の収穫体験（小学生）の受け入れ 							
		災害への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 防災講座の継続 5/27(土)に鷲巻地区と合同、避難所開設後の地域の役割について学ぶ内容で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 大郷・鷲巻合同防災訓練の開催（5月） 災害時の一人暮らしの方へ声かけの実施 							

南区地域福祉アクションプラン 令和5年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和5年度推進計画			評価							
	スローガン	推進目標	令和5年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
鷺巻	全員集合！鷺巻地区～笑顔の和をひろげよう～	支え合いのしくみづくり	・認知症について学習会を開催する 自治会長と民生委員の情報交換会を活用して開催する	・認知症講座の実施 ・民生委員訪問活動	<ul style="list-style-type: none"> ●取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流会では活動日や地域での農繁期等を考慮すると参加者が固定され、参加人数も限られる ・敬老会の開催有無を自治会ごとの判断にしたため、地区社協の祝い品の対応に苦慮した ●次年度引継ぎ事項 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も世代間交流等地域交流を継続、参加者で喜びを共有、地域の繋がりを深める ・配食サービスの見守り活動や情報交換会を通じて地域の状況を把握して認知症講座開催など、地域活動に取り組んでいく ・災害を想定した実践的な訓練を重ね、自治会や地域全体で連携して取り組む 	A	A	A	A	A	A
		交流の機会の創出	・コミュニティわしのきを中心とした多世代交流の機会を創出する 地域生活センターで味噌づくり体験等イベントを開催する 映画観賞会についても開催を検討していく	・桜・灯ろう祭りの開催 ・健康スマイルウォーキング ・大鷺夜まつりの開催 ・保育園や地域での世代間交流の実施 ・はたちの会の開催 ・コミュニティカフェの開催							
		防災・減災の取り組み	・災害訓練の充実を図る 地域の連携した災害訓練の取り組み状況については、家屋倒壊の際の情報伝達等実践的な訓練や災害時に必要な担架や発電機、消化ホース等機材も揃えているほか、消防署での訓練も検討する	・大郷、鷺巻地域防災学習の実施 ・自主防災研修、訓練の実施							
		人材育成・人材確保		・民生児童委員と管轄地域の自治会長並びにコミ協役員合同情報交換会の開催							
		安心・安全な地域づくりの推進		・給食サービス事業の実施 ・安心箱配布事業の実施							
根岸	楽しく暮らせる住みよい根岸	支え合いのしくみづくり	・地域の茶の間での介護予防体操の推進 ・地区社協の地域の茶の間への支援継続 ・地区社協の見守り事業継続	・地域の茶の間の継続 ・敬老会開催…100名の参加、自治会で参加呼びかけ、顔の見える関係づくりに努めた	<ul style="list-style-type: none"> ●取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・元旦の地震から、防災への正しい知識を一般住民へ伝えることが必要と分かった ・コロナ禍で活動が途切れたこともあり、新たに復活させるためには外部の力を借りたり、改めて自治会が声かけをしたりといった工夫が必要であることが分かった ●次年度引継ぎ <ul style="list-style-type: none"> ・一般住民の方々への正しい防災知識の啓発 ・自治会長へのアクションプランの説明会が令和5年度は作れなかったため、次年度は実施する ・2層圏域茶の間交流会を根岸の茶の間に参加呼びかけ ・根岸小の認知症の福祉教育を継続 	A	A	A	A	A	A
		防災・減災への取組み	・防災訓練の継続 ・避難行動要支援者世帯の確認	・10月、防災訓練 実際に発電機等の敷材を動かしてみる訓練を行った							
		若い世代の参画・交流できる場の推進	・「あやめ祭り」の復活 多世代が楽しめ地域一丸となって実施できる形で復活させる ・4地区合同どんと焼きを盛り上げる	・あやめ祭り…キッチンカーの導入や発表会等企画を工夫、コロナ以前より2倍参加あり							
		人材育成・人材確保	・根岸小学校福祉教育で高齢者の理解促進を図る	・小学校での福祉教育を継続、視覚障がいの方の理解と高齢者や認知症について学ぶテーマで実施、子ども達の優しい気持ちを育てた							
		安心・安全な地域づくりの推進	・自治会ごとの活動で互いに見守り合う地域づくりを目指す	・各自治会でのセーフティスタッフの活動を継続している。							

南区地域福祉アクションプラン 令和5年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和5年度推進計画			評価							
	スローガン	推進目標	令和5年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
大通	今つなげよう！大通に安心と思いやりのネットワークを！	地域活動への住民の参画推進	<ul style="list-style-type: none"> 多様な住民が少しずつでも関わられるよう工夫する 地区内の行事や事業について、地区全住民に対し呼びかけ 子ども食堂等具体的な活動での地域活動への参加推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域センターの花植え活動（6月） 秋祭りへの中学生の参加（10月） 小学4年生向け防災体験学習（9月） 地域活動のマスコミへの発信…参画のきっかけづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で活動を縮小していたため地域活動者が減少、活動が復活しても新たな人材に地域活動に関心をもって参加してもらうことが難しい ●次年度への引継ぎ <ol style="list-style-type: none"> ①徘徊ネットワークについて、自治会長ファイルの中身の引き継ぎと共に説明、システムの理解促進に努める ②思いやりネットでは活動を継続しながら地域ニーズに合わせた支援メニューの検討を続ける ③役員自らが楽しみ、ボランティアのすそ野を地道に広げる 	A	A	A	A	A	A
		支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 徘徊ネットワークを役員はじめ地域の方にシステムとして根付かせる 認知症の理解促進講座の機会を通じて説明会を実施 思いやりネットの活動を継続しつつ、移動の支援の検討も続ける 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症講演会を開催、一般住民の方の理解促進につなげた 思いやりネットによる活動継続と他地区との情報交換で活動の充実を図った 							
		防災・減災の取組み	<ul style="list-style-type: none"> コミ協の防災活動事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 防災講座（5月）防災訓練（6月） 避難所運営委員会（7月） 小学4年生向け防災体験学習（9月） 避難所開設訓練（10月） 							
		つながりのある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協実施事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 有志による子ども食堂の開設（8月） 秋祭りやどんど焼き等行事の活性化 自治会と民生委員の情報交換（年数回の機会） 地区社協事業の充実（安心袋、障がいの理解講座等々） 							
		情報発信	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だよりでの活動情報発信の工夫 アクションプランの分かりやすい図や絵での活動情報発信に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやコミ協だよりの発行 マスコミへの地域行事の発信 …テレビ局や新聞社の取材が増えた 							
白根	広げよう地域の輪 風の舞うまちしろね	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスの立上げとスムーズな運営を目指す 顔の見える関係づくりの推進 配食サービスの継続や地域の茶の間、助け合い活動を継続していく 	<ul style="list-style-type: none"> 白根お互いさま支援隊の活動開始…住民ボランティアによる生活支援サービスの開始（7月） 民生委員と自治会長、地区社協の顔合わせ会の開催 地域の茶の間の継続実施 敬老会の開催（9月） 白根地区社協配食サービス（10月・3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ●取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> 白根お互いさま支援隊について <ul style="list-style-type: none"> 「南区お互いさま」と相談者・協力者が重複しているため受付～支援後の事務処理を分けて実施していく必要あり。 支援に入っている人が固定化。多くの人に関わってもらえるよう、依頼～コーディネートの流れ確認の必要あり。 支援の仕方を検討。必要な場合には他の制度やサービスの促しを行う。 ●次年度への引き継ぎ <ul style="list-style-type: none"> 地震時、自治会長や民生委員で心配な方への声かけを行った方がいた。地域住民へ声かけについて周知する機会が必要。 次世代の担い手発掘のための仕掛けづくりについて検討。 子育て支援について、既存の団体や活動を活用しての取り組みについて検討する。 	A	A	A	A	A	
		災害への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員、自治会長、コミ協でさらに情報共有できるようにする 白根南部では月1回防災会議を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員と自治会長の情報交換会 南部：被災地視察 中部：町内ごとに防災訓練等を実施 北部：避難所運営についての検討 							
		担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> お互いさま支援隊の活動員を募集するなど、地域の担い手を募集していく 	<ul style="list-style-type: none"> 北部：新しい担い手の集め方検討 お互いさま支援隊活動員募集継続 							
		白根児童センターと地域とのふれあい	<ul style="list-style-type: none"> センターでの多世代交流を推進する 地区社協活動の中で児童センターの活動支援ボランティア団体の活動を応援する 	<ul style="list-style-type: none"> 白根児童センター運営会議への参加 児童センター開催事業への協力 							

南区地域福祉アクションプラン 令和5年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和5年度推進計画			評価							
	スローガン	推進目標	令和5年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
味方	なじらね ば かい〜ね ぶ いきいき ぶ れあい ぶ ささえあい 味方地区	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービス「みんなの味方応援隊」を立上げと実施 敬老会の開催を通し、参加しない方への訪問など見守り活動につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」の活動開始 支え合いのしくみづくり推進委員の茶の間訪問活動の実施（5ヶ所） 	<ul style="list-style-type: none"> ●取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> 老人会の入会数が減少、後継者もおらず団体数も9団体から4団体に減った 民生児童委員の担い手がおらず2名欠員の状況が続いている ●新たな課題 <ul style="list-style-type: none"> 以前に比べ地域住民の関係性の希薄化が感じられ、子供の数も減少しており地域の子供会も統合していくような動きも ●次年度引継ぎ事項 <ul style="list-style-type: none"> 今年度行った地区の様々な活動の中で出てきた課題や必要な取り組みを継続的に関係団体や地域の人と一緒に考えながら行っていく 今年度から開始された生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」もやりながら味方地区に合った内容を検討していく 茶の間に若い世代も参加を促しコミュニケーションを図れるような取り組みも考えていく 	A	A	A	A	A	A
		地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の生徒のデイサービス訪問など、地域と交流できる機会を工夫する 家に閉じこもりがちの方が安心して集まれるような場も考えていく 	<ul style="list-style-type: none"> 茶の間利用者、民生委員と協働で西区災害ボランティアセンターへ炊き出し支援活動 地区社協で敬老会出席者に米寿祝い品贈呈、欠席者は役員と民生委員が見守り訪問し、祝い品を贈呈した あじかた穀倉祭、ふるさと納涼祭 西白根神楽舞、味方穀倉太等伝統芸能の継承 							
		地域の中での交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間での子ども達との福祉の学びの場の開催 吉江の茶の間での子どもと高齢者の学び合い活動を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> お〜いよおの会で海水浴とスキー教室の実施 地域と学校パートナーシップ事業で小学校1年生と昔遊びを行った 							
		組織強化	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブの加入者の減少食い止め策を地域でも検討する 自治会長が2年交代で地域のことを知らない方も増えてきたため、活動を周知していく 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」に関する味方地区全戸配布によるアンケート調査を実施してサービスを利用する側とボランティアする側の意見を把握することができた ふるさと納涼祭役員一部を若い世代へ担い手に交代 							
		PR活動	<ul style="list-style-type: none"> みんなの味方応援隊の周知やボランティア募集などを通し、活動をPRしていく 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙による生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」の周知広報活動の実施 笹川邸の耐震構造やイベントに活用して地域にPR 							
月湯	あいさつ 声 かけ やり つ ながり ぶ いっつ ぶ 獅子の里	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> お茶の間で介護予防の推進 幸齢ますます元気教室参加促し ボランティア養成講座を各自自治会で開催できるよう検討する 小中学校で福祉学習で認知症や障がい者の理解促進 あいさつ運動、中学校での声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> 健康トークショーの開催 月湯地区敬老会の実施 福祉と健康のつどいの開催 地区社協×民生委員で安心箱配布 月湯便利帳の配布 南天の会の配食サービスの実施 しゃっきり体操の普及活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●取組んでの課題 <ul style="list-style-type: none"> 定年延長で60歳を過ぎても働く人が多く役員の担い手不足。 人口の減少や核家族化などの背景から地区で活動している団体役員の担い手不足や高齢化により茶の間の解散もある イベントの参加人数減少、検討必要 ●新たな課題 <ul style="list-style-type: none"> ふくしと健康のつどいで地元中学の演奏を行ったが会場への移動が課題 ●次年度引継ぎ事項 <ul style="list-style-type: none"> 南天の会の新たな配食メニュー検討 今年度行った内容の気付きや課題を検討しながら来年度も引き続き継続していく 災害時に地域で必要なことを拾い支え合いの取り組みで具体案検討 	A	A	A	A	A	A
		地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりや困っている人を支える 民生委員と自治会が連携して情報収集 親御さんの困りごと情報収集など 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の見守り活動と自治会長と必要な情報共有を実施 相談を必要な関係機関に繋ぐために活動団体との連携の働きかけ 							
		地域活動への住民の参画推進	<ul style="list-style-type: none"> 芸能祭への小中学生の参画検討 ボランティアの育成 伝統芸能角兵衛獅子の伝承の継続 世代間交流事業（公民館事業と社協の活動コラボ、ボラ団体周知活動検討） お茶の間の世代間交流などの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化活動の実施 月湯地区防災訓練の実施 北海道月形町物産販売会の開催 茶の間2ヵ所で世代間交流の実施 月湯中学校生徒との世代間交流：ブラインドサッカー教室を開催 							
		情報発信	<ul style="list-style-type: none"> コミ協通信：支え合いのしくみづくり 社協だより：アクションプランのPR 支え合いのしくみづくり広報作成 	<ul style="list-style-type: none"> 便利帳による地区内のサービスの紹介 月コミ通信の発行 地区社協だよりの発行 							